

眠り寺小屋

Tokyo Nishikawa Sound Sleep Information



快眠情報 Vol.14

整圧敷きふとん

寝具について④

快適な眠りには、寝ごちのよいふとんが欠かせません。
睡眠科学に基づいて生まれたオリジナル構造の「整圧敷きふとん」は、
カラダの動きにキッチリ反応するスグレモノ。
今回は、理想的な寝姿勢と体圧分布を整えてくれる、
整圧敷きふとんをご紹介します。

さらに進化した、 21世紀仕様の敷きふとん

快適で健康な睡眠のために、いろいろな機能敷きふとんを研究してきた西川産業。睡眠科学の追究と最新の技術を駆使し、最適寝具理論に基づいて「整圧敷きふとん」を開発しました。

中芯に良質のウレタンフォームを使用した構造は、睡眠科学から生まれた独自の工夫がこらされています。体圧分散や寝姿勢保持、寝床内気象の適正化を高め、敷きふとんに求められる機能をより効率的に発揮します。

その素材や構造の工夫が認められ、整圧敷きふとんは『日本生理人類学会第51回大会』で寝装業界で初めて「PAデザイン賞」を受賞しました。

(PAとは… Physiological Anthropology: 生理人類学)

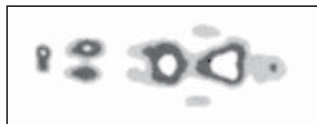
体圧をマルチ分散。ソフトな感触なのに、底つき感がありません

整圧敷きふとんは、体圧を分散させる上層部と、それをさらに分散させて寝姿勢を保持させるベース部が立体的に組み合わせられています。凹凸部がソフトにからだを受けとめ、底つき感もないため、快い寝ごちが得られます。

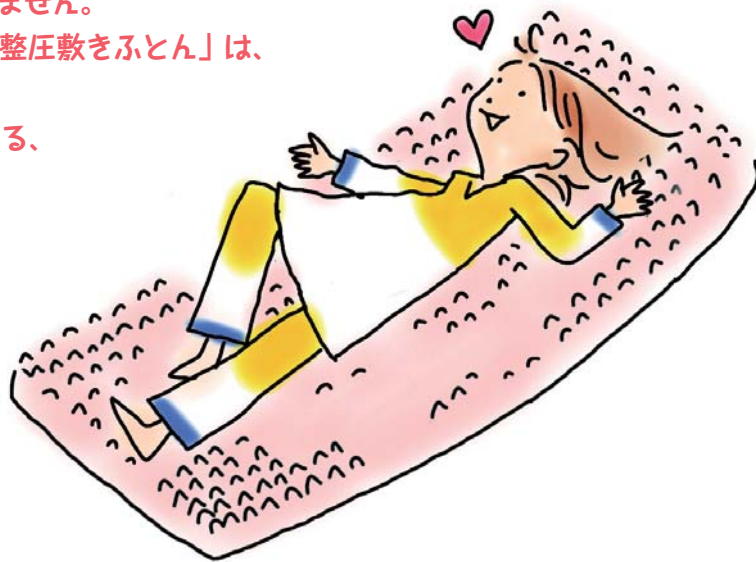
体圧分散の比較

体圧分布計測器「エルゴチェック」で、一般的な羊毛敷きふとんと整圧敷きふとんを同じ人が寝比べ、体圧分布を比較したデータです。色の濃い部分は体圧が高めにかかっていることを示し、薄い部分は体圧がうまく分散されていることを示しています。整圧敷きふとんは、全身の体圧をバランスよく分散させていることがわかります。

羊毛混敷きふとん



整圧敷きふとん



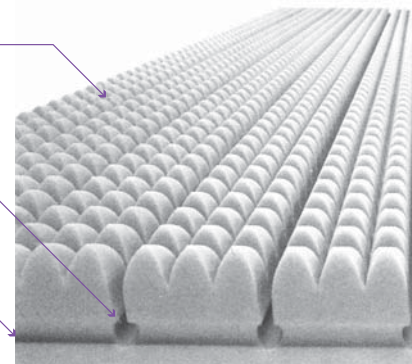
また、保温性や通気性、メンテナンス性も万全です。

整圧敷きふとんの特長

整圧敷きふとんは、最先端技術から生まれた特殊構造。上層部とベース部のスリットが交差しているため、湿気やアセ

などの水分を速やかに分散してくれます。通気性もよく、湿気がこもりにくくなっています。また、素材のウレタンフォーム内部や凹凸間、スリット部に空気をとどめるため、冬でも暖かく快適。軽いので毎日の上げ下げもラクなうえ、通気性がよいので干す回数も少なくてすみます。 ※『ドクターセラ N』と併用すると、温熱療法が効果的に伝わります。

- この凹凸が体圧を分散し、クッション性を高めるため、睡眠中の血行を妨げません。
- 上層部のスリットにより、重さが加わると周りまでも引き込み沈んでしまう「ハンモック現象」を緩和。からだを独立支持させるため、しっかりフィットします。
- ベース部の立体的な構造がからだの沈み込みを調整するため、理想的な寝姿勢を実現します。



整圧敷きふとんの構造と働き

